



私のいちおし本

「高山郷土誌・内之浦町誌」

選者：チューリップの会 大野 重敏



合併により肝付町が誕生する前に発行された2冊の郷土誌。

両町の成り立ちについて様々なことが書かれているのですが、この中には有名な一反木綿の話をはじめ、88もの民話・伝説など親しみやすい内容も収録されています。

分厚い本ですのでなかなか全部に目を通すことは難しいと思いますが、興味のあるページだけでもめくってみると、町の新たな一面を発見できるかもしれません。町内外の図書室で読むことができますし、歴史民俗資料館や銀河アリーナで販売もしています。ぜひご一読ください。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

汝、星のごとく

凧良 ゆう 著

瀬戸内の島に育った高校生の暁海（あきみ）と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた権（かい）。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき……。正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。



【文化センター図書室】

【一般】

空を駆ける

梶 よう子 著

戊辰戦争を生き延びた孤独な少女は、横浜の女学校「フェリス・セミナリー」と出会い、女性の自立と子どもの幸せを希求する。名作児童文学「小公子」の翻訳家・若松賤子の31年の生涯を描く。



【児童】

なぞなぞでおぼけやしきたんけん

石津 ちひろ 文

おばあちゃんの家に来たふうた君に、しゃべる猫は「雨が降ってもこれがあるから安心さと思っていたら、一本足であちこちをぴよんぴよんぴよん飛び跳ね始めた。これは一体ニャ〜んだ?」となぞなぞをだして……。



【児童】

ハコフグのねがい

さかなクン さく/え

海の中にすんでいるハコフグ。いつもひとりでおかふか泳いでいます。群れで泳ぐイワシや、遠い北の海に行けるサケのことをうらやましく思っていたが……。さかなクンかきおろしの、自然科学や生き物への興味が深まる絵本。



その他の新刊

【一般】嘘つきジェンガ

辻村 深月 著

今夜、世界からこの恋が消えても

一条 岬 著

【児童】食糧危機のサバイバル

ゴムドリ co. 文

SDGs のサバイバル

佐藤 真久 監修

その他の新刊

【一般】田の神サアガイブック 田の神のすべてが分かる本

八木 幸夫 写真/文

マル暴ディーヴァ

今野 敏 著

【児童】キーウの月

ジャンニ・ロダーリ 作/ベアトリーチェ・アレマーニャ 絵

パンドろぼう おにぎりぼうやのたびだち

柴田 ケイコ 作